

2011年2月1日発行(隔月発行)

図書館報
ぶらっつ★篠崎

016号

印象派の巨匠・モネの人となりに迫る！



林 綾野(はやし あやの)
キュレーター／アートキッチン代表

美術館での展覧会企画、美術書の企画、執筆を手がける。アーティストの芸術性と合わせて、その人柄や生活環境、食への趣向などを研究。料理・レシピ制作を行う。
これまでに手がけた展覧会は『英国植物画の世界』『ピカソとクレーの生きた時代』展など。主な著作に『モネ 庭とレシピ』(講談社)、共編著書に『クレーの旅』(平凡社)など。

「光の画家」クロード・モネに関する 講演会を開催します！

「睡蓮」の連作などで知られるモネ。その柔らかく、色彩に富んだ作品は、今も多くの人の心を捉えています。時間や季節とともに移りゆく光と色彩の変化を生涯にわたり追求したモネですが、一体どんな生活を送ったら、あんな数々の美しい絵を描くに至るのか、気になりませんか？

モネ、その暮らしとは・・・？

今回の講演会「モネ 庭と食卓」では、モネの生活人としての一面にスポットを当てます。お話しいただくのは、画家の愛したレシピなど“食”を切り口に美術を紹介する、通称「食卓本シリーズ」で人気の林 綾野さん。1月に上梓したばかりの「モネ 庭とレシピ」の取材で撮影した、モネの家や庭の写真、食へのこだわり、そして数々の絵画を紹介しながら、モネの創作の秘密に楽しく迫ります。

講演会 「モネ 庭と食卓」

3月19日(土)

14時～15時30分(開場 13時30分)

講師 林 綾野

場所 篠崎文化プラザ 講義室

定員 50名(申込制、先着順)

3月8日(火) 14時より

篠崎図書館カウンター または

電話(03-3670-9102)にて受付開始

林 綾野さんの主な著作

最新作！

「モネ
庭とレシピ」講談社
2/1現在 未所蔵
後日購入予定「ロートレックの
食卓」講談社 723口
篠崎ほか所蔵「ゴッホ
旅とレシピ」講談社 723ハ
篠崎ほか所蔵「クレーの
食卓」講談社 723ク
篠崎所蔵

ライブシネマ篠崎 「めぐり逢えたら」

(1993年、アメリカ)

監督:ノーラ・エフロン

出演:トム・ハンクス

メグ・ライアン ほか

3月26日(土)

14時～16時(開場 13時30分)

場所:篠崎文化プラザ 講義室

定員:70名(当日受付、先着順)

どなたでも参加できます。

入場料:無料

最愛の妻を失い、息子と共に寂しいクリスマス・イブを迎えていたサムは、ラジオの人生相談で胸の内を切々と告白。その告白に涙したアニーは、運命のマジックに操られるようにサムに魅かれていく。そして、バレンタインの夜、ついに愛の奇跡が訪れた…。

人物ブックマーク

人物ブックマークとは、著名人とその著作および関連本を紹介するコーナーです。

第十二葉 アルフレッド・ノーベル

マリー・キュリーのノーベル化学賞の受賞から100年の今年は「世界化学年」。昨年は鈴木章氏、根岸英一氏が受賞し日本中が大いに沸きました。

この世界的な権威ある賞を創設したのがアルフレッド・ノーベルです。ダイナマイトの発明などによって巨万の富を得た人物ですが、爆薬関係の発明だけでなく生涯に350以上の特許を取っています。彼の死後、遺言書により賞が創設されました。

恵まれない少年時代、夢は詩人か作家になることでした(小説や戯曲が残っています)。やがて

工業化学に興味を持ちます。同じ発明家だった父との確執や爆破事故で弟を失うなどを経て、ダイナマイトを発明。その後、裁判での争いや軍事利用への葛藤から平和運動へと傾倒していきます。「人類のため、世界平和のために」との思いから莫大な遺産をもとに基金をつくり、死の5年後、1901年から「人類に対してもっとも偉大な貢献をした人」に賞と賞金を授与することとなりました。

創設に込められた思いを知って、改めて日本人受賞をお祝いしたいものです。

ノーベル関連書籍

| | | | | |
|-------------------|-----------|------|---------|--------|
| 「アルフレッド・ノーベル伝」 | ケンネ・ファント著 | 新評論 | V289.3/ | 中央所蔵 |
| 「ノーベル賞100年のあゆみ 1」 | 戎崎俊一 監修 | ポプラ社 | 37 | 中央ほか所蔵 |

江戸川まいにんぐ 〇 発掘 第16回

今井橋～荷風が見た風景～

永井荷風さんという人は、あちこちと散策するのが好きで、「日和下駄」という東京散策記の名作を残しているほどなのですが、その荷風さん、江戸川区にも時折、足を運んでいたのです。その場所の一つが“今井橋”。荷風さんの日記「断腸亭日乗」昭和7年6月に「江戸川今井の堤に至り、今井橋のほとりを歩む」とあり、実際に今井橋の近くで川を眺めている写真も残っているのです。

ただ、そのころあった今井橋(旧今井橋)はもうありません。その名残りとして橋脚跡が残っているだけです。周りの風景も荷風さんが見たものとは、だいぶ違うでしょう。でも、その場に立って、眺めてみませんか? もしかしたら、ほんの少しだけでも荷風さんが見たものが残っているかもしれませんから。

「区内路上観察」で遭遇した、けっこうレアで、けっこう役立ちそうな情報を毎回お届けしています。



※「荷風流東京ひとり歩き」P43 291.3ナ 中央ほか所蔵
参考文献 「江戸川もよう」江戸川区立松江図書館/編 K1-21 篠崎ほか所蔵

編集後記

正月から毎夜、ネズミに襲撃されています。早くネズミから卒業したいです。(風雲ふわふわ丸) / 花粉症の季節になりました。ポーっとならないよう気を付けねば…。(病弱亭弱々) / 東部新図書館にはもう行かれましたか? 新しい館と本って良いですね。3年前を思い出します。(ジーク・信玄) / 先輩の卒業式には号泣したのに、自分の時はさっぱりでした。(愛燦燦) / 寒いときは背中にカイロを貼っておくと暖かくてお勧めです。(まろにえ船長)

編集・発行: 江戸川区立篠崎図書館

住所: 〒133-0061

江戸川区篠崎町7-20-19
篠崎文化プラザ内

TEL: 03-3670-9102

[しのぎ文化プラザHP]内篠崎図書館ページ
<http://www.shinozaki-bunkaplaza.com/library/>